

協力準備調査(BOPビジネス連携促進)

モザンビーク・ティラピア養殖・販売事業準備調査

株式会社A-ONE

開発課題

- 国民の44%が慢性的な栄養失調にあり、特に動物性蛋白質の摂取が不足している。
- 失業率が23%と高く、多くのBOP層はインフォーマルな仕事に従事し、雇用環境が不安定となっている。

提案事業

- 淡水魚（主にティラピア）の養殖及び販売に至るバリューチェーンの構築を通じて、BOP層の消費者に対して、安価かつ衛生的な高蛋白源を提供することにより、深刻な栄養状況の改善と新規雇用機会の提供を目指す。

「協力準備調査（BOPビジネス連携促進）」を通じた ビジネスモデル構築、事業計画立案



安価かつ衛生的なティラピアを販売するための調査を実施

- 現地の原材料を使用し、安価な飼料を開発。
- 不衛生で酸敗した魚が流通するモザンビークでは、新鮮なティラピアを、低温管理された新鮮な状態で販売することが付加価値となる消費者ニーズを確認。



成果

- 同国初となるティラピア大規模養殖と国内販売で収益を上げるとともに、バリューチェーンの各工程においてBOP層を新規雇用するビジネスモデルを策定
- 高蛋白源であるティラピアを、スーパーや市場にて、BOP層も購入可能な価格で販売開始